

2022年度 戦略施策マネジメントシート【2021年度実績評価】 作成：2022年 6月 14日

施策番号 1-2	施策名 雇用促進プロジェクト	基本的方向	誰もが希望する働き方でいきいきと輝けるまちをつくる			
		基本目標	安定した産業と雇用を創出し、誰もが活躍できる社会づくり			
	主管課	商工労政課	課長名	仲野 裕司	内線	247
	施策関係課	健康福祉課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針	対象	意図					結果
年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが希望する働き方を実現し、いきいきと輝いて暮らせる取組を進める	町民	<ul style="list-style-type: none"> ・起業者や多様な働き方を実現する ・町内企業の経営安定化と、障がい者の自立を進める 					<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが活躍できる社会になる ・住み慣れた地域で安心して住み続けられる
重要業績評価指標(KPI)	説明	単位	策定時(基準値)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2024年度(目標)
① 町の支援により起業した人数	実績数(R2~R6累計)	人	3	2	2		10
② 就労支援事業所から一般就労した方の人数	実績数(R2~R6累計)	人	8	0	1		12
③							
評価指標設定の考え方	①起業を希望する方を対象にしたセミナーなどを通じて起業者を増やす。 ②誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現のため、障がい者の自立支援と社会参加の促進を目指し、第5期総合計画の成果指標と同様としている。						

2. 施策の事業費

	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	6,254	13,291	
人工数(業務量)	0.0109	1.2364	

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	<ul style="list-style-type: none"> ○起業セミナー等を通じた2021年度の起業事例はなかった。 ○企業との橋渡しなどの「就労支援」を通じて、トライアル雇用から一般就労に繋がっている。
②2024年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	<ul style="list-style-type: none"> ○2022年度には起業セミナーを性別関係なく受講可能としたほか、個々の起業検討段階に応じた内容とするなどして、起業意欲を後押しすることから、起業事例の増加が見込まれる。 ○2022年度スタートの通勤サポート、関係課連携による、企業と障がい者の雇用マッチングを継続して推進していくことから、目標は達成できると考える。
(2) 施策の成果評価に対する第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	起業セミナー開催事業 障がい者就労支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ○女性のための起業セミナーとして太田明子ビジネス工房代表の太田明子氏を講師に、起業に向けたセミナー開催をし、2021年度は13名の参加があった。 ○町内企業訪問を通じて、障がい者雇用に関する企業側の基礎的データの収集、提供を行い、障がい者を雇用する事業所への職域開拓・雇用ノウハウの指導等を総合的に行うとともに、就労を希望する障がい者等に対して、相談・育成・マッチング・就労定着支援を行い、障がい者の雇用促進につなげるなど、担当課連携により、事業を推進した。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(総合戦略策定時との比較)

担当課 評価	○自分らしい働き方の一つとしての「起業」のきっかけづくりとなり、2021年度までに5組の起業実績は大きな成果である。 ○障がい者雇用について、担当課連携により、町内企業訪問を通じて得られた「雇用ニーズ」から、トライアル雇用まで漕ぎつけたことは成果である。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した C: (総合戦略策定時と比較して)前進した
D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (総合戦略策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	○起業セミナーへの参加者傾向から、この7年で「既に起業に関心を持っていた女性」の掘り起こしは一定程度完了したと考えられる。 ○企業訪問を通じ、雇用までのプロセスや手法が明確でなかったことから障がい者雇用が進まなかった一面もあることが明らかになった。企業の障がい者雇用に対するニーズは高いことから、適切なサポートを施すことで、障がい者雇用が進むことが考えられる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	○障がい者の就労機会の確保と自立促進・支援 ○労働力不足対策の推進

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<p>○地方創生における女性活躍推進の観点から女性限定のセミナーとしてきたが、起業・創業を支援するにあたり、性別や年代を問わず起業したい方の希望をかなえることを目的に、2022年度以降は性別を限定せずに参加者を募集していく。</p> <p>○企業への戸別訪問を継続しながら、一般就労先企業を掘り起こす。また、一般就労を果たした障がい者、雇用した企業へのフォローアップ行うなど、定着の支援を行う。</p> <p>○通勤サポートについて、当面は地方創生交付金を活用した事業展開(R3-R5)であるが、将来的に安定した運営体制の構築が課題である。</p>
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (総合戦略策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (総合戦略策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、経営戦略会議評価と同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見		<p>A: 実現した</p> <p>B: (総合戦略策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (総合戦略策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (総合戦略策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (総合戦略策定時と比較して)後退した</p>					